

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
<p>(1) 災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくろう」</p>	<p>市の避難行動要支援者の個別計画は75歳以上で、社協からの生活支援アンケートは65歳以上になっているが、この年齢の違いは何か。社協と横の連携はあるのか。</p>	<p>市は、設定年齢を国が示している取組指針を参考に75歳以上としているが社協は、高齢者の括りで65歳以上としているのではないと思われる。いずれにしても社協など他の関係機関と連携を図りながら、事業を推進していきたい。</p>
	<p>個別計画の取り組みは、全ての町内会に対してきっちりと説明し、最後までやってほしい。</p>	<p>自主防災組織の未設置の町内会（平成26年12月1日現在）に設置に向けた呼びかけをしていくとともに、個別計画については、進捗状況を勘案しながら、進めていく予定である。また、町内会からの要望があれば対応していきたい。</p>
	<p>75歳以上で縛る必要があるのだろうか。その年齢に満たない人でも町内会で放っておくことはできない。情報をもろう町内会としては、そういう年齢の人の情報も大切で、あればありがたい。</p>	<p>本事業を開始して間もないこともあり、まずは現状の設定で実施し、必要に応じて見直しを図っていきたい。</p>
	<p>「同意書」の表現が固い。わかりやすく平易な表現にしてほしい。また、記入するスペースも狭く、高齢者には書けない。（市の文書など全般に言えること）</p>	
	<p>個別計画を作った後でも、町内会が小さいので町内会単位では訓練などをできない所もある。</p>	<p>防災訓練については、調整次第では地区・地域での実施も考えられるので、実施の要望があれば相談してほしい。</p>
	<p>全ての町内会の個別計画の完成用途はいつなのか。</p>	<p>一人一人の個別計画の作成にあたっては時間を要することから、進捗状況にあわせて決定していきたい。</p>
	<p>実施町内会は毎年、いくつの町内会を予定しているか。</p>	<p>平成27年度においては、10町内会を予定しているが、町内会での作成は要望があれば問合せ願いたい。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) 災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくろう」	4年位前に、地域包括支援センターで民生委員を使った同じような調査があったがそれと重複した作業にならないのか。また、同意する側も何回も同じようなことを聞かれるという感じを受けないか。その同意書を今回の同意書に活用できないのか確認してほしい。	事業を開始して間もないこともあり、当面はこのような設定で進めていきたいと考えるが、事業を進めていくうえで、効率的かつ効果的に推進するならば検討していきたい。
	健康の駅でも独居の調査をしている。同じような調査を別々にしないで一括してできないのか。	
	地域で支えるといっても、どこまで立ち入っていいのかわからない。個人情報という言葉だけが先走っている。	自力で避難することが困難な避難行動要配慮者を災害時において、円滑に避難支援や対応するためにはどうすればいいのかという取り組みなので、まずは「個別計画」を作成していただきたい。
	いろいろな調査があるようだが、町内会には何の情報も入ってこない。	今回の事業の実施にあたっては役員会などにおいて説明したり、町内会長あてに文書を配布している。他の調査においても、同様に行っているものと思われる。
	災害、防災を考えたとき、非常に助け合いには難しい課題がある。たとえば職場がある場合や、それぞれの自己優先があるはず。	災害時においては、まずは自分や家族などの安全確保が優先されるが、地域に住む避難行動要支援者の必要な情報を把握することにより、円滑な避難行動支援や対応などにつなげていきたい。
	地域の支えあいについて、若い人はどう考えているのだろうか。	町内会においても若い人の取り込みが困難になっていると聞くことから、イベントや行事などを通して若い世代と交流を促進する対策などが必要となる。
	町内会のあり方にも疑問がある。市は、公助が終わったら共助でというがそれもどうなのか。	災害の被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれが、災害対応力を高め、連携することが大切であるため、特に公助が終わったら共助という訳ではない。但し、災害時の初動対応には自助・共助が重要となることから、本事業を推進していきたい。

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
<p>(1) 災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくろう」</p>	<p>災害時と通常の独居を区別なしで、普段から町内会で支えあう仕組みを作ってはどうか。</p>	<p>東日本大震災など災害においては高齢者や障がい者の被害が増大であった。それらの事柄を教訓に、高齢者や障がい者の中でも、自力で避難などがすることが困難な方を支援できる仕組みづくりを優先的に取り組んでいきたい。</p>
	<p>町内会の後継者がいるのか。また作っていいのか。</p>	<p>町内会の活動等に対して、若者や転入者の参加率が低いことが課題となっているため、世代間交流や町内会への加入の促進に向けた対策が必要となる。他市では高校生が町内会の役員を行っている事例もあるで、参考にしていきたい。</p>
	<p>平成21年に町内の防災組織を作成した。その時は180件のうち170件が記入してくれた。</p>	<p>非常に災害に対する意識が高い地域だと思われる。今後も引き続き、災害対応力を高めてほしい。</p>
	<p>留萌市や町内会などそれぞれが持っている情報を集めたら相当数にならないのか。</p>	<p>どのような情報を指しているかわかりませんが、今後も市と町内会が連携して事業の推進を図ることになる。</p>
	<p>年齢に関係なく高齢でも元気な人は助ける方に回るくらいの気持ちが必要だ。</p>	<p>その通りだと思う。高齢者や障がい者の方のなかでも、自力で避難することが困難な方を支援する仕組みづくりを地域で確立していただきたい。</p>
	<p>浜中町では海岸地域であり津波に対しての危機感を持っており、町内の要支援者に関する調査を現在行っている。</p>	<p>調査結果をまとめた後は市にも報告してほしい。</p>
	<p>要支援者に関する個人情報の管理はどこで責任を持つのか。</p>	<p>町内会、市、消防署など関係機関が情報を共有し、それぞれで責任を持つ。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) 災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくらう」	<p>防災に強い街づくりのためには、地域の状況が異なるので、きめ細やかな対応が必要である。 情報が町内に伝わらないことが多い。防災認識が浸透していない。</p>	<p>日頃から防災について、関心を持ち、地域で防災訓練などを実施してほしい。必要に応じて、「お茶の間トーク」などを通じて、市としても参画していきたい。</p>
	<p>防災の担当部局に専門家を置くべきである。</p>	<p>検討していきたい。</p>
	<p>要支援者体制を整えるのであれば市全域で行うべきではないか。</p>	<p>事業を開始して間もないこともあり、ある程度の課題をクリアした段階で、対象範囲などを決定していきたい。</p>
	<p>夏場については、市の担当者の方が来ていただいて説明を受けているのでわかるが、礼受・浜中も同じだと思うが冬場の対策が皆無である。市に聞いても有効な解決策がない。夏なら逃げることも可能だが、今後の計画の中で、どのように生かされていくのか。</p>	<p>今年度、各コミセンに避難所備蓄品として、ストーブなどを配置したところであり、必要に応じて各避難所に移送する。また、災害協定を結んでる提携先と暖房対策について対応することになるものと考えている。</p>
	<p>津波、洪水の問題で、私たちが住んでいるところが海拔何メートルなのかが判らないという話が町内会でもでている。洪水が起きた時に逃げる場所が山しかない、それが整備されていない。特に冬場は逃げる場所がない。</p>	<p>海拔表示板などを設置している箇所もあるが、検討していきたい。</p>
	<p>資料4ページの対象者の件で、高齢者は分かるが、障がい者・要介護者などは同居している方が健常者でも対象になるのか。町内会に担当者が説明に来ると説明があったが、何名以上集まればなどの規定はあるのか。</p>	<p>災害時において自力で避難することが困難な高齢者などを町内会で支援していただくことになるので、同居している家族などで支援者となる方がいれば、含まないことになる。また、説明については、町内会から要望があれば出来るだけ対応していきたい。</p>
	<p>留萌市全部の町内会で何年か掛けて計画をつくるのか、希望する町内会だけで作るのか。</p>	<p>全町内会で策定することが望ましいが、なかなか進まない状況にある。事業の進捗状況を踏まえながら、再来年以降の計画を作成していきたい。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) 災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくろう」	<p>強制はできないと思うが、市全体で何年で実施するなどの見通しはあるのか。希望する町内会だけと言われると、まだまだとなってしまふ。</p>	<p>全町内会で策定することが望ましいが、なかなか進まない状況にある。事業を開始して間もないこともあり、ある程度の課題をクリアした段階で、対象範囲などを決定していきたい。</p>
	<p>集合住宅のため、入居者が鍵をかけている。何かあってもドアを開けられない。市民課に行けば家族構成などは教えてくれるのか。誰が手を貸してほしいのかわからない。</p>	<p>市民課に問い合わせても個人情報教えることは出来ない。そのため、この「個別計画」をもとに、町内会と対象者で話をしながら、対応していただきたい。</p>
	<p>日本海側で地震が起きた場合の新たな津波のシミュレーションはまだ出ていないと思うが、以前の想定とだいぶ違うことも予想される。 元町地区は、海拔3～4mで海と川に囲まれており、市営住宅が避難場所に指定されているが、本当に大丈夫なのか不安である。 また、避難訓練などは夏を想定して実施してきたが、冬期間に避難しなければならないような状況となった場合の対応が不完全で不安である。</p>	<p>ご指摘のとおり、新たな津波のシミュレーションについては、今後、北海道から発表されることになり、その後、既存の計画などを見直していくことになる。また、冬期間に避難については、今年度から各コミセンに避難所備蓄品を配置したところであり、災害協定を結んでいる協定先などと対応していきたい。今後は複合型の災害（冬季地震、津波、停電など）への対応を研究していく。</p>
	<p>要支援者の避難計画について、3. 11の時には、助けに行った多くの方が亡くなっている、そこまでして助けに行かなければならないのか。また、助けを当てにして待っていた要支援者が亡くなってしまい、地方の家族から訴えられた場合など行政はどう考えているのか教えていただきたい。</p>	<p>災害時においては、まずは自分や家族の方々の安全確保が優先され、町内会の支援者の方に法的な責任などを負わせるものではない。避難行動要支援者の方についても、必ず支援されることを保証するものではないことを示しているところである。</p>
	<p>市からの要支援者個別計画の文書の最後には「責任をもつものではありません」とは書いているが、あくまでも書類上の話で、実際要支援者と話をすると期待をされてしまふ。何かあった場合、必ず責任追及される場面が出ると思う。 行政は、個別計画の意味、限界など整理し、責任を持って対応してもらいたい。</p>	

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(1) 災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくろう」	<p>個別避難支援の取り組みから2年になると思うが、支援する側も2年程度で役員が交代するし、支援される側も対象者が刻々と変わっていく。(3年前の計画だと意味がない)市として取り組んだ以上、継続していかなければ意味がない。更新、見直しをどのように考えているのか。</p>	<p>役員の交代にあたっては、前任者の方から後任者の方に事業の目的を説明していただき、引き継ぎをしていただきたいが、必要に応じて市に問い合わせしてほしい。また、更新については、年1回程度の更新を考えている。</p>
	<p>避難場所が建物の場合は良いが、広場が避難場所となっている場合や冬季間の避難の場合、暖を取るところがない。(備品を貰うことになっており、屋内での利用は可能だが、屋外ではあまり意味がない) 地域の民家の方に家を開放してもらい、一時受け入れてもらうなどを対策として進めてはどうか。</p>	<p>原則は避難所を開設場所と考えているところであり、各コミセンにおいてはストーブを設置しているところであるとともに、必要に応じて災害協定先から支援を受けることになっている。</p>
	<p>何人かの要支援者に該当する人から、個人情報の同意書が得られない場合がある。同意しない人に対する対応策は、どうすればよいのか検討してもらいたい。</p>	<p>同意されない理由としては、災害時に支援が必要のない方や他者に個人情報を教えたくない方などがあるので、まずは同意された方について、対応していただきたい。</p>
	<p>避難行動要支援者の対象者が資料4ページの説明の中では、市内に3,000人いるということだが、基礎データ、調査の手順が知りたい。</p>	<p>対象者には、市から同意するか否かの文書を郵送し、その結果を名簿にまとめ、町内会に報告する。その報告を受けて、町内会と同意された方で「個別計画」を作成していただくことになる。</p>
	<p>避難行動要支援者の対象者(市内3,000人)について調査に入る場合、該当する町内会には、市が直接町内会へ要請するのか、町内会から市へ要請するのか。</p>	
	<p>避難行動要支援者の対象者についての情報は全て個人情報に該当すると思うが、例えば、身内が老人ホーム等に入所していることは市が実態を把握しているのか。</p>	<p>市においても全てを把握している訳ではありませんので、同意の有無について確認しているところであり、老人ホームなどに入所している場合は施設側が、まずは支援者となるという扱いになる。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
<p>(1) 災害に強い地域づくりのために「避難行動要支援者の個別計画をつくろう」</p>	<p>個人情報について、取り扱いには充分注意してほしい。</p>	<p>取り扱いには充分注意して対応していきたい。</p>
	<p>避難行動要支援者の調査について、町内会に若年層世帯の加入が少ないため、実際に調査活動をするのは、町内会に加入している高齢者世帯になるのが現状である。</p>	<p>ご指摘のとおり、若年層や転入者世帯の加入の低さが課題となっているが、一方 東日本大震災においては高齢者や障がい者が犠牲になったことから、そういった方々の対策を講じなければならないので、ご理解願いたい。</p>
<p>(2) 今年の除排雪計画について</p>	<p>市で空き地の所有者と交渉し、除排雪の場所として、提供してもらうのは難しいだろうか。</p>	<p>市道除雪のための堆積地として利用可能な箇所は既に提供していただき活用している。個人の宅地内除雪のための堆積地としては、平等性の観点から市が確保するのは難しい。</p>
	<p>5～6年くらい前までは年2回くらい排雪をしてくれたが、最近では1回も排雪に入ってくれないことがあるので、年1回は排雪してほしい。</p>	<p>生活道路の排雪は必要に応じて年に1～2回の排雪を行う計画であるが、その道路の場所や条件により、日々の除雪で幅員等が確保されている場合は、運搬排雪は行わない場合もある。現地状況を確認し必要に応じて対応する。</p>
	<p>ごみステーション前に除雪の雪を積んで、見通しが悪くなって事故も多くなっている。雪を捨てる場所を作らないとどうにもならない。町内会は違うが、住之江公園を除雪場所とするなど許可してもらえないものか。</p>	<p>道路除雪業者にはゴミステーション周辺は配慮するように指導している。道路除雪業者以外の場合も考えられるため、個別箇所については相談いただき対応したい。 公園への雪入れについて、箇所によっては町内会等打合せを行い、利用方法を定め利用している箇所もあるが、遊具や芝生等の施設が破損する危険がある場合には雪堆積場としての利用は認めていない。住之江公園に関しては、過去に雪堆積場として利用したことがあるが、利用方法が悪く収集がつかなくなり、それ以降利用を取りやめしている。</p>
	<p>自衛隊と緑ヶ丘小の間に河川（アイトシナイ川）があるが、そこに雪投げはできないのだろうか。</p>	<p>河川については、投雪が原因となり融雪期等に氾濫する危険性があるため、雪捨て場としての利用はできない。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 今年の除排雪計画について	<p>海に雪を投げたらダメということだが、ゴールデンビーチの雪捨て場はどうなっているのか。市で行っているから良いのかとも思っていたが、ブルで押して投げているようにしか見えない。</p>	<p>ゴールデンビーチの市民雪捨て場は、海岸部までの堆積と雪押しとしている。</p>
	<p>萌寿園に向かう道路の防雪柵がゆるんだりして角度が変わっているところがある。強風で柵自体が飛んでしまっは危険なので点検をしっかりとしてほしい。</p>	<p>破損している状況は確認しており、危険度の高いところから優先順位をつけ計画的に補修していく。</p>
	<p>港南中学校前の官舎内にある大木に蜂の巣ができて切ってもらった。通学路であり雪などが落ちてきたら危険なので、そういったものは切ることができないのか。</p>	<p>道路の財産である街路樹は各道路管理者が維持管理を行うが、それ以外の道路沿いの木は、基本的にその持ち主が管理するものとなっている。枝等が道路に突出して通行に支障になっている場合等は、市から管理者へ指導することもできるので、情報提供していただきたい。</p>
	<p>町内会の高齢者率が高まっており、玄関前に除雪の雪が押しつけられると高齢者には厳しい。除雪車のアングル調整により玄関前には雪を残さずに除雪できるはずである。</p>	<p>道路除雪の基本は、路肩へのかき分け除雪であるので、路肩に堆積した各家庭前の間口除雪が必要な場合については、各家庭に除雪の協力をお願いしている。 なお、その道路の場所や条件により、道路面の片側に人家が連担していない場合等、片側に寄せれる場合は片側寄せる対応をしている。また、道路除雪は朝の通勤・通学の路線を確保するため、午前7時半頃までの限られた時間内に完了することを目指して行っているものであり、高齢者に対する福祉サービスや各個人の要望に応じた除雪サービスとして対応しているものではない。現行の道路除雪基準（国道、道道、市道）では対応しきれないので、更なる除雪サービスが必要な場合は、高齢者対策として必要に応じた対応が望ましいと考える。</p>
	<p>市道の除雪で家の前に重機で重い雪を置かれていくと、高齢者は対応できない。業者に雪を残さないように指導してほしい。</p>	
	<p>高齢者のみの世帯が増えており、除雪に関して現在の体制の見直しが必要。</p>	
	<p>除雪のできない高齢者などが住んでいる私道も年に数回除雪してはどうか。</p>	
	<p>高齢者の除雪対策を近所の助け合いで行っているが、件数が増え限界となっており、市の対策をお願いしたい。</p>	

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 今年の除排雪計画について	除雪車のドライバーによる部分もあるが、市役所が指導していないように思うので、契約の条件としてほしい。	道路除雪業者各社とは同じ条件内容で契約し管理指導している。個別事項については相談いただき対応していきたい。
	市は、この通りは高齢者が多いなどの地域の状況を把握していない。把握していれば地域に合わせた除雪ができると思う。	個人情報の問題もあり高齢者を含む個人情報を除雪業者へ提供することはできない。道路除雪の基本は、路肩へのかき分け除雪であるので、路肩に堆積した各家庭前の間口除雪が必要な場合については、各家庭に除雪の協力をお願いしている。 なお、その道路の場所や条件により、道路面の片側に人家が連担していない場合等、片側に寄せれる場合は片側寄せる対応をしている。また、道路除雪は朝の通勤・通学の路線を確保するため、午前7時半頃までの限られた時間内に完了することを目指して行っているものであり、高齢者に対する福祉サービスや各個人の要望に応じた除雪サービスとして対応しているものではない。現行の道路除雪基準（国道、道道、市道）では対応しきれないので、更なる除雪サービスが必要な場合は、高齢者対策として必要に応じた対応が望ましいと考える。
	排水を利用して流雪溝を設置した方がよい。増毛町や苦前町（古丹別）を参考にすればよい。	過去に流雪溝等の設置の可能性について調査研究しているが、留萌市の場合、河川水の供給や地理的な条件等により流雪溝の設置は困難である。
	空き家の屋根から雪が落ちてきて道を塞ぐので、その都度市に電話をしている。	空き家については市で把握しており、パトロールもしている。基本的に持ち主の対応となる。交通に影響がある場合は、市道の管理者として対応している。
	空き家対策は、事故が起きてからでは対応が遅い。	代執行により取り壊すこともできるが、費用を回収できるかが課題となることから、市では条例を制定していない。
	春先になると道がしばれてマンホールが浮き上がるなどぐちゃぐちゃになる。市役所に話をしても担当者が変わり、きちんと引き継ぎされていないので対応してくれない。	破損している状況は確認している。補修費用の関係もあり、現状では一度に全て補修できないので、優先順位をつけ計画的に補修している。

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 今年の除排雪計画について	<p>東雲町で実施された高規格道路の説明会で、完成すると五十嵐町から堀川町を経由した市立病院への交通量が減ると言っていたが、逆に増えると思われる。堀川町の大通り橋の幅員も狭く改修が必要と考える。</p> <p>また、モダ石油前の元川町交差点に問題がある。改修工事後の待ち時間も短縮はほとんどみられない。</p>	<p>五十嵐通りは都市計画道路であるが、堀川町部分は大通り橋も含めて未改良のままである。高規格道路開通により国道は交通量が増加するが、五十嵐通りは市内交通量の変化はないと考えている。道路改良については、道路5か年計画で今後検討していく。</p> <p>元川交差点は2次改修が完了し、交差点形状や信号現示も改良され交通の流れは円滑になった。</p>
	<p>給食センター横の東雲3号通りに路上駐車している車両が散見され、降雪時は視界が遮られ危険な状況である。</p>	<p>現地のパトロール回数を増やし状況を把握し、必要に応じて留萌警察署とも相談し対応していきたい。</p>
	<p>市が除排雪したあとの広くなったところに、一般家庭の雪を除雪機などで出しているのを見かける。パトロールなどを強化してモラルを促してほしい。</p>	<p>道路への雪出し禁止は当然のことであり、市もパトロールの実施や広報、個別指導もしているが、対応しきれてないのが現状である。雪出ししている所を現認し、注意指導しなければ効果的ではないので、町内会としても雪出し禁止に対する取り組み、協力をお願いする。</p>
	<p>除雪の基準は10cm以上に定められているが、吹き溜まりなどで交通障害となる路線があり、パトロールを強化しよう指導していただきたい。</p>	<p>吹き溜まりや暖気等で路面状態が悪化し交通障害となる場合は、除雪を実施する。パトロールも実施しているが、局部的に発生する吹き溜まりなどは視界不良でパトロールも困難である時が多く、できる場所、時間もさまざまなので、情報提供をいただき、作業ができる環境になりしだい作業を行い交通障害とならよう対応していきたい。</p>
	<p>除雪オペレーターにより除雪の質にばらつきがあり、一定の統一が図られるよう指導をお願いしたい。特に、道路幅を確保していただきたい。</p>	<p>バス路線等幹線道路については2車線幅確保、生活道路については1車線幅確保を目標に除雪を実施している。なお、運転手の技量についても、一定の統一が図られよう指導していきたい。</p>
	<p>除排雪を実施してもすぐに雪出しにより道幅が狭くなる路線での対策を講じてほしい。</p>	<p>その道路の場所や条件により、すぐに幅員が狭くなる路線がある。多くの場合は、幹線に面する枝線が幅員が狭く、幹線道路に除雪した雪を出して対応しているものと、地先からの雪出しによるものと認識している。町内会等も含めた枝道の除雪方法のあり方、現地状況を再確認し必要に応じて対応したいと考える。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 今年の除排雪計画について	市道に雪を出すことを禁止しているが、シーズンに1回程度認めてほしい。(排雪時期のまえ)	現状では困難である。
	自分が住んでいる道路は除雪路線となっていない。通路確保のため道路に雪を出すと文句を言われる。	私道の道路への雪出しは、個人住宅の雪だしと同じ扱いになるので止めていただきたい。家屋が3件以上連担している私道であればダンプトラックや融雪機の無料貸出し制度が利用できる。
	除排雪を行う町内会に貸し出すダンプトラックの貸し出し制度があるが、もっと簡単に利用できるよう工夫してほしい。	できる限り簡素化しているが、市費でダンプトラックの費用を負担するため、利用状況の説明責任も含めて最低限の確認事項は必要となる。
	トラックの運転手は貸してくれるのか。	ダンプトラック本体費、燃料費、運転手費も含め貸し出しとなる。ダンプトラックに係る費用一式を市が負担する。
	コミセン単位で行政、住民、除雪業者が話し合える場が必要。	町内会からの要請により、町内会単位での住民、除雪業者、市の3者で除雪に関する懇談会を開催しているので、開催希望がある場合は連絡をいただきたい。
	雪捨て場が近隣にあれば効率的に排雪を行うことができるようになると思うので箇所を増やしたほうがいい。	雪捨て場の選定条件として、一定程度の広さと、春先に溶けた水の処理ができること等周辺環境の諸条件が整っていることが必要であり、更なる雪捨て場の確保は困難な状況にある。ただし、地区限定で使用する小規模な雪捨て場の選定は今後も継続して行っていきたい。
	ダンプトラックの無料貸し出し制度について、運転手と燃料代についてはどうなっているのか。	ダンプトラック本体費、燃料費、運転手費も含め貸し出しとなる。ダンプトラックに係る費用一式を市が負担する。
	春日町の市営住宅の入居者が独居老人だけなので、除雪に大変苦勞している。毎回来ていただきたいと言わないが、溜まった時には、除雪をお願いしたい。町内会では限界があるので要望したい。	市では、一人暮らしなどで本人や協力者による除雪が困難な方には、緊急時の安全確保など図る除雪サービス事業を行っているため、は一とふる(介護支援課・地域包括支援センター)にご相談ください。

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 今年の除排雪計画について	<p>以前の生協の歩道のあたりでロードヒーティングが壊れて、歩道に吹き溜まりができています。中学生が学校へ行くのに、歩道が歩けないため、車道で車が通り過ぎるのを待っていることが見受けられる。事故がないよう対応を要望したい。除雪車で歩道をふさぐときもあり危険である。</p>	<p>ロードヒーティングは強風により路面の熱が奪われるため融雪機能が著しく低下する特性があるので、万全なものではなく、あくまでも補助的機能として認識していたとき、路面状態にあわせ注意しながら通行していただきたい。ご指摘の箇所は防雪柵を設置してから一定程度の効果が図られているものと認識しているが、局部的に発生する吹き溜まりなどは視界不良でパトロールも困難である時が多く、できる場所、時間もさまざまなので、情報提供をいただき、作業ができる環境になりしだい作業を行い交通障害とならぬよう対応していきたい。除雪作業中は歩道をふさぐこととなるので、注意しながら通行していただきたい。</p>
	<p>錦町の市営住宅前の除雪について、行く方と帰る方で置いていく雪が3倍ほど違う。一度、見てもらったが改善されていない。</p>	<p>その道路の場所や条件（例、カーブの内側、外側や交差点付近等）により、どうしても除雪の堆積量に違いがでる場合がある。現地を再確認し、業者とも打合せを行っていきたい。</p>
	<p>元町地区は大型車両の通行が多く道路の確保をお願いしているが、吹き溜まりが多い場所で排雪をするにしても大変である。古丹浜埠頭の木材を置くスペースに雪を押しして道幅を確保するなどを検討してみてもどうか</p>	<p>古丹浜埠頭への雪堆積場も検討したこともあるが、港湾荷役で使用する場合も考えられこと、現行の雪捨て場であるヲム口の沢が位置的に近いこともあり、現状は利用していない状況である。</p>
	<p>バス路線の排雪が遅く、バスとの交差ができない状況になる。バス路線の排雪について早めの対応をお願いしたい。</p>	<p>バス路線等の幹線道路は2車線幅確保が目標であり、早めの排雪を計画、実施するようにしている。年に3～4回程度の運搬排雪を計画している。</p>
	<p>東岸通りにラベンダーを植えているが、除排雪のときにすこし高さをあげてもらいたい、直営のときは良かったが、業者になってから引掛けることがあるので、気をつけるよう指導して欲しい。</p>	<p>業者へ指導する。</p>
	<p>元町は毎年、市、町内会長と業者とで協議を行っており、除雪については大分よくなった。</p>	<p>毎年の対応感謝する。また、開催希望がある場合は随時連絡をいただきたい。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 今年の除排雪計画について	東雲会館横にある公園内に防火水槽があり、防火水槽付近に除排雪の雪を搬送業者がショベルで積み上げている。付近住宅で火災が発生した場合、使用できないのではと住民が不安がっている。	留萌消防署から消防水利周辺の除排雪に関する協力依頼もされており、道路除雪業者には消防水利周辺は配慮するように指導している。道路除雪業者以外の場合も考えられるため、現場を確認し、関係業者と打合せを行い、消防署とも協議しながら対応していきたい。
	潮静は、毎年大雪が降ると搬送除雪がなかなか入らず、市内バスが町内を走れない状態が3～4日続き、苦労している。生活に支障をきたしているが、留萌市ではどう考えているのか。また、自衛隊の要請等を考慮してほしい。	バス路線等の幹線道路は2車線幅確保が目標であり、早めの排雪を計画、実施するようにしている。年に3～4回程度の運搬排雪を計画している。なお、市では平成25年1月の大雪時には路線バスが運休した記録があるが、それ以外は運休記録はない。また、過去の除雪に関する災害派遣要請事例から自衛隊への要請には至らないと判断している。
	搬送除雪の基準について説明があったが、実際に基準通りに来たことがない。例えば、市内では10cm積雪があっても、潮静地区から東側は20cmの積雪であるのが現状である。	バス路線等の幹線道路は2車線幅確保、生活道路は1車線幅確保を目標に、日々の除雪を行い必要に応じて運搬排雪をするものである。新雪除雪は、早朝除雪を基本としており、その時の降雪量がおおむね10cm程度を目安に出動するものである。
	市のパトロールは、中心路線しか見て行かない。住宅街の中に入り細部に渡って積雪状況を確認する等しっかりやってほしい。	パトロールは、2車線幅確保の幹線道路が中心となるが、幹線道路から生活路線の状況も確認しており、必要に応じて生活道路もパトロールするようにしている。
	除雪出動基準の「2. 3」については、誰が決定し、実施するのか疑問がある。	新雪除雪以外はすべて事前協議を必要としているので、業者との協議により市が決定している。なお、新雪除雪については、事後報告としている。
	市内の各地区によって降雪量が違うので、搬送除雪を委託された業者は、地区ごとの降雪量により支払う金額を決めてはどうか。	現除雪業務の委託契約は、運搬排雪は搬出した量での出来高精算制としている。
	雪が降ると坂が多いため車が上がれない。10cm雪が降らないと除雪に来てくれない。地理的なことを考慮して、できれば朝と夕方の1日2回除雪に来てほしい。	早朝除雪を基本とするが、日中の降雪や融雪により走行が困難な状態になった場合は、10cm以下でも必要に応じて路面整正除雪を行うので、走行困難な場合は相談していただきたい。

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(2) 今年の除排雪計画について	大和田バス停前の上層にある消火栓付近を除雪しても、あとから開発の除雪車がきて、除雪した場所に雪を投げていく。	留萌開発建設部留萌開発事務所にその旨連絡した。可能な範囲で対応するとの回答であった。現地確認したところ改善されていた。
	降雪により道路が遮断されると生活に支障をきたすので、市または消防で雪上車を持ってほしい。	雪上車が必要となる場合は、自衛隊への災害派遣要請が必要なレベルになると思われますが、このレベルの降雪発生頻度を考えると雪上車を保有して寝かせておく有効性は無く、意見の趣旨不明のため回答なし。
(3) 留萌市の介護保険について	市内の高齢者向け施設が4種類あるが、この待機状況を教えてほしい。	特養で100名程度。ただ、民間に入っている人もいるので、全く何処にも入っていない人数ではない。
	留萌市として、待機状況を把握するようなサービスはできないか。例えば、認知症の待機者は何名とか老人ホームの場合は、何名待機しているなど市で把握できないか。	特養はできるが、民間は市ではできないと思う。市の担当のところにご相談すれば情報は得られるので、は一とふるに相談してほしい。
	3年に1回保険料を見直しているが、高齢者の割合が増えていくとどこまで高くなるのか、負担しきれない状況になるのではないか。 次回の改定で介護報酬を5%下げるとい話があるが、そうなれば保険料も下がるのか。	介護報酬の増減による影響はあるが、今後は、高齢者人口の増加に伴う介護給付費が増えることにより、保険料は上昇する見込みである。 団塊の世代が75歳以上になる平成37年度においても円滑な介護保険制度が持続できるよう取り組んで行く。
	報道で後期高齢者の保険金に欠損金が出ていると聞いていたが、年金から強制的に天引きされるのに未納が発生するというのが理解できない。	介護保険料の納付の方法は二通りあり、特別徴収（年金天引き）と普通徴収（納付書払い）がある。 特別徴収（年金天引き）では、未収は発生しないが、普通徴収（納付書払い）では発生することがある。
	民間の介護施設に入所するには多額の費用が必要で、年金だけでは入れない。	介護保険施設等はその事業所により様々な料金設定となっているが、低所得段階の方々が入居可能な施設の充実が課題となっている。

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(3) 留萌市の介護保険について	<p>萌寿園の入所待ちは現在92人と聞いている。市の施設をもっと増やしてほしい。 さらに、萌寿園の敷地内に来年度以降も施設を建てて頂きたい。</p>	<p>特別養護老人ホーム萌寿園は、社会福祉法人萌寿会が運営しているが、平成26年4月に地域密着型特別養護老人ホーム(20定員)が開設となった。 今後も萌寿会との連携を図りながら、入所希望者の解消などについて検討していく。</p>
	<p>身内が萌寿園に入所しており、本人は施設内で運動をしたいと言っているが、させてもらえないようである。もし運動して骨折したら困るからだと言っている。</p>	<p>特別養護老人ホーム萌寿園は、社会福祉法人萌寿会が運営しているが、利用者の安全確保などには十分に配慮しているものと考えている。</p>
	<p>市内には民間で経営する介護施設が多くあるのに、入りたい人が2、3か月待ちであると聞いている。理由として、介護する人がいなく、人手不足で手が回らないからと聞いている。市ではどのような対策を考えているのか。</p>	<p>全国的にも介護に携わる人材の不足が指摘されているので、当市においても介護の人材が確保できるよう国や北海道にはたらきかけていく。</p>
(4) 首都圏における留萌観光物産PRについて	<p>留萌マルシェ秋葉原店、横浜店の両店ともいったことがあるが、横浜店はなくなったようだがどうなったのか。</p>	<p>横浜店については店舗の立地条件の問題もあり、客が入らなかったようである。</p>
	<p>道外PR事業も良いが、留萌に道の駅を設置してはどうか。道の駅があると、年中PRすることができる。船場公園に設置してはどうか。</p>	<p>船場公園は国道231号、JR留萌駅、留萌港東岸船溜まりに隣接し中心市街地へのアクセスも良好な場所に位置している。平成9年から都市公園として整備を進めており、平成27年度に管理棟を含めた施設全体が完成する。都市公園事業として施設の整備はしているが、駐車場、トイレ、インフォメーションスペース等の道の駅に必要な機能も入っている。</p>
	<p>他の市町村ではラジオ番組を利用したり、テレビショッピング・インターネットによりPRし効果を上げているが留萌市は活用しないのか。</p>	<p>番組招聘などは多くの費用がかかるため実施していない。放送で取り上げていただくなど、関係機関との連携の中で実施している。 商品の販売に関しては、それぞれの企業の販売戦略。</p>
	<p>季節が良く夕陽のきれいな夏場に、道外から1カ月間黄金岬に夫婦で車の中に滞在し、21万円を留萌市で消費している方がいる。観光物産のPRだけでなく、市住などの空き住宅を活用した「短期永住」のPRも必要ではないか。</p>	<p>他市町村の空き家バンク制度などの移住・定住に関する取り組みについて調査、研究を進めた上で、留萌市にとって効果的なPR方法を考えていきたい。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(4) 首都圏における留萌観光物産PRについて	<p>留萌のPRをあちこちでやっており、それは素晴らしいと思うし、イベントもやっているが、その効果はどうか。また、実際、留萌の経済波及効果はどうか。8時ぐらいになると街を歩いている人もおらず、飲食店も減少している。高齢者が多くなっているのかもしれないが、働く場所や雇用を増やすことが必要。</p> <p>農業や漁業で、どの程度活性化され、就労人口がや後継者がどのように増えていくのか。日常生活が豊かにならなければ人口は増えていかないと思う。そういう施策をみんなで悩んでいかなければならないと思う。若い人が、生き生きする町にしてほしい。</p>	<p>(効果・波及効果)</p> <p>留萌のPRは、まずは「留萌」という「名前」であったり「場所」などを知らせていただくことから始まり、継続的な取り組みにより認知されていくものと思っている。</p> <p>経済への波及効果も大きなものは無いが、米や数の子の注文なども来ていると聞いている。</p> <p>(一次産業)</p> <p>農業、漁業における担い手づくりは喫緊の課題と認識しており、国、市独自の制度を組み合わせ、新規就農者、新規就業者の確保に向けた支援措置を講じているところである。また、これら新たな担い手も含め、農業者、漁業者の所得向上に向けた生産振興や農水産物の付加価値の向上と販路開拓など積極的にとり進めていきたいと考えているところである。</p>
	<p>ルルロツの作付面積が少ないためか、値段が非常に高い。</p>	<p>ルルロツについては、留萌市や小平町で生産された小麦を市内の製麺業者が加工製造した100%オリジナルパスタとなっている。生産量が少ないため、価格面では大手の大量生産の商品と比較し、割高となっているが、生産者、製造者の努力により高品質かつ地域性のある商品として差別化を図りながら、生産、販売振興をしていきたいと考えているところである。</p>
	<p>ルルロツはお土産として留萌の名前が入っているので利用しやすい。</p>	
	<p>東京などでのPRは、地元の人間としてはあまりピンと来ていない。振興局は、道内から集まった会議の参加者に、留萌市内でのお土産購入など、ことあるごとにPRをしているが、市の取り組みはあまり目立っていない、外でのPRばかりではなく、来た人に対する地元でのPR活動にも、もっと力を入れてほしい。</p>	<p>市内で開催される全道、道北の会議や大会などで観光パンフレットなどの配布を実施している。また、留萌観光協会でも特産品の売店を臨時出店しており、留萌のPRを実施している。</p>
	<p>市長が頑張っているのは分かるが、この取り組みが生産者の団体等と一体となった活動なのか疑問。数の子などは、生産者は個別売りではなく、関西での市場の取引がメインとなっている。市長の取り組みと業界とが一緒に動いているのか見えてこない。</p>	<p>数の子は、関西方面の取引が主となっており、首都圏への拡大を期待しているもの。</p> <p>米に関しては若手農業者も販売に参加し、直接PRしている。</p> <p>販路拡大には消費者へのPRも大切であり、今年の実績をもとに関係機関と次年度以降に向けた取り組みを協議していく。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(4) 首都圏における留萌観光物産PRについて	道の駅を作ることが一番のPRだと思う、是非作ってもらいたい。今は、どこに行っても道の駅があり、そこを目指して旅行客が来る。留萌も道の駅を作り、そこを拠点に情報発信やPRを行うことを考えて欲しい。場所は、駅の裏ではなく、これから延びてくる高規格道路の近くが適切だと思う。	現在、駅裏の船場公園を道の駅とする予定はないが駐車場・トイレ・情報発信スペースと機能的には兼ね備えている施設となっている。
	増毛の催しには、札幌などから大勢の観光客が押し寄せている。歴史と果物、お酒などを融合させた観光PRの上手さを感じる。留萌も増毛に負けないような取り組みをして欲しい。	うまいよ！ るもい市は、市外へのPRも行っており、市外からの来場も多く、海（黄金岬や海水浴）や他のイベントとの連携により集客を図っている。 市内だけではなく、近隣町村の観光も含め広域的な取り組み（提案）、市民も含めマチ全体でのおもてなしが必要。
(5) その他の項目について	自衛隊と緑ヶ丘小の間に河川（アイトシナイ川）があり、国と市の用地の関係かわからないが、夏でも自衛隊側は草などもきれいだが緑ヶ丘小側はすごい状況になっていて、川の右岸と左岸の状況がすごい違う。それが原因なのか川水も昔はきれいな水が流れていたような気がする。	自衛隊側（右岸）は自衛隊で草地法面全て除草をしている。小学校側（左岸）は留萌市で道路の機能保全と視認性確保のため路肩平面部と路肩から河川へ法面部2m程度幅で除草をしている。
	平和台の市住看板がまだ道住となっている。市住に書き換えてほしい。	早急に対応する。
	屋根の滑り止めが壊れている家屋があり危ない。これから冬になっていくが危険家屋については早目に対応してほしい。	国の方でも法案は通ったが、その方針も細部までは全て網羅しているというのではなく、市としても条例化を含め検討をしているところ。所有者に対して管理のお願いも続けていく。
	ごみの仕分けが大切なのは十分理解はしているが、実際高齢者世帯になるとプラを洗ってだとか汚れたものはなど細かいところまでの区分けは難しい。もう少し仕分けを少なくはできないものか。	細かい仕分けにより、資源化や処分場の延命などにつながり、ごみ袋の料金や新しい処分場を造る際の市民負担にも影響する。確かに小さな袋を洗うなどは大変だと思うが、平成27年度も引き続き、民さんのご協力をお願いする。どうしても難しいというものがあれば可燃ごみや不燃ごみとして処理してほしい。

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) その他の項目について	<p>一部の市営住宅のごみの出し方が悪い。原因としては、留萌市の分別方法が複雑で高齢者が理解していない。特に水曜日の資源ごみの出し方が悪く、市役所に相談したこともあるが、一度は見に来てくれたが改善に繋がらない。出す人は特定できないので自分で片づけている。</p>	<p>分別したごみを販売することで、収入を得ることにより、市民負担を軽減するようにしている。ごみの出し方のトラブルは、市が解決すべきと考えており、問題が発生した場合は、廃棄物対策係に連絡をお願いする。</p>
	<p>千鳥町見晴通りについては、道道と市の取り付け道路についての認識が甘いのではないかと。千鳥町見晴通りの計画がよくわからない。 道路ができた後、野本町の除雪についての問題は解消できるのか。 自由ヶ丘迂回道路についてどう考えるのか。千鳥町には、千望高校、留萌中学校、近隣には東光小学校があり事故が心配である。</p>	<p>都市マスや留萌市道路網整備計画に基づき、都市計画道路の追加を行ってきた。広い幅員の歩道を両側に計画しており、避難路や通学路としても活用がなされていく。 野本町の除排雪については、16mの幹線道路に拡幅されるので、排雪効率も上がるものと考えている。 自由ヶ丘団地と見晴通の取付道路については、道道管理者と協議していきたい。</p>
	<p>栄町の道路工事については、工事期間が長く、道営住宅の駐車場が不便で入居者から苦情がでているが工事の状況についての説明が欲しい。</p>	<p>道路工事については、基本的に隣接する町内会へは回覧などでお知らせをしている。</p>
	<p>見晴町に鹿が増えていて不安である。市では市街地の鹿対策をどう考えているのか。</p>	<p>近年市街地でのエゾシカの出没が増加しており、交通事故や人への安全確保のため警察と連携して対応している。ただ市街地では銃器の使用が出来ないため、刺激を与えることを避けながら山林等への誘導を行っている。</p>
	<p>婦人の家では、保護司会の活動や、文化活動に大きな影響があると思うが、市としては今後どうする考えなのか。</p>	<p>近年の利用者減少及び光熱水費等の高騰により、施設運営が厳しい状況であることから、利用者の意見を聞き管理体制を見直した上で一定の方向性を協議する予定。</p>
	<p>健康の駅をよく利用しているが、健康機器が古く特にバイクの故障がひどい状況である。予算の都合は理解できるが、修理できるものは修理するなど、もう少し配慮いただけないか。</p>	<p>るもい健康の駅は「健康づくりの新たな交流の場」として、多くの市民の皆様にご利用いただいている。特に軽運動室は利用者が一番多く、来館者アンケートにおいても、エアロバイクの老朽化に対するご意見をいただいている。安心、安全にご利用いただくために今後充分検討していきたいと考えている。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) その他の項目について	<p>留萌市から郵送される窓付き封筒の窓部分のプラスチックを分別する際に剥しにくく、今後封筒を製作するときには剥しやすい工夫をしてもらいたい。</p>	<p>今後封筒を作成する際に、窓部分を剥がさずに雑紙(ざつがみ)で廃棄できるものへの変更を検討する。</p>
	<p>湊神社の鳥居の中に市の軽トラックを乗り入れ作業し、タイヤ痕を残していった。神聖な場所でもあり、このようなことのないよう指導していただきたい。</p>	<p>当日は、電線に触れそうな道路沿いの木の枝払い作業のため、軽トラックを持ち込んで作業をした。ご指摘のとおり、作業にあたっての配慮を欠いており、大変反省している。今後、同様の作業の実施にあたっては充分注意していきたいと考えている。</p>
	<p>温水プール「ふるも」の一部再開は、利用者は大変喜んでいる。今年度は短期間の再開であったが、来年度のプールの再開にあたっては、利用者からアンケート調査するなど意見を取り入れていただきたい。</p>	<p>平成27年度も26年度と同様に小学校のプール授業で使用します。 また、今年度、プール授業として使用しない夏休みの一般開放時期にアンケートを実施したが、回答件数が3件と少なかったため、平成28年度においては、実施方法を改善して実施する予定である。</p>
	<p>テレビ報道の映像で市民の顔として出る市役所庁舎の建て替え計画はあるのか。</p>	<p>市の庁舎の建替計画はないが、庁舎全体が老朽化してきており、特に本庁舎については、建設後50年以上経過していることから、今後、対応を検討していく。 なお、災害等により市の庁舎が使用できない場合、市立図書館に災害対策本部を設置することとなっている。</p>
	<p>地震が来て庁舎が潰れてしまったら防災の拠点がなくなってしまう。耐震診断、建替計画等検討するべきではないか。</p>	
	<p>泉町の奥で鹿が頻繁に出没し、最近が開運町の市街地にまで出没している。庭や畑が荒らされ大変困っているが、対策はできないか。</p>	<p>市街地では銃器使用の駆除が出来ないため、家庭菜園等での対策では、銃器を使った捕獲が出来ないため、防護網や塀を回すなどの所有者の自衛が中心となる。</p>
	<p>医師がいないことから深川市の病院に通院している状況がある。医師の確保を含め、住民が安心できる医療体制の充実を図っていただきたい。</p>	<p>引き続き、医師確保に向け努力する。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) その他の項目について	<p>今年にっぽん丸などの寄港があり、観光客は古丹浜などを目にして第一印象が悪いと思う。市内の環境整備で廃屋の対策を行っていると思うが、まず、学校の廃屋など市の所有物を優先して対策してから、市民にも協力を求めるべきだと思う。</p>	<p>市所有の老朽化している建物については、周囲に危険を及ぼさないよう管理をしながら、計画的に解体を進めている。周囲に危険を及ぼす恐れのある一般の空き家については、所有者の責任として適正管理を指導していく。</p>
	<p>佐賀番屋など既存の観光施設を整備するべきではないか。</p>	<p>佐賀番屋は観光施設ではないが、観光ツアーなどに組み込まれている事例もある。既存観光施設は老朽化が進んでおり、市全体の施設整備計画を検討する予定。 佐賀番屋については、今後も施設の維持をしながら、一般開放を継続していく。</p>
	<p>観光施設等のトイレを整備し、使用できる体制にしてほしい。以前は使えていたが、冬の間、黄金岬、公園など南岸釣り客やゴールデンビーチ使用者が使えないトイレが多い。</p>	<p>基本的に冬期間のトイレ開放は考えていない。</p>
	<p>ふるさと館に佐藤勝のコーナーがあるが、他に多くの著名人がいる。利用すべきである。</p>	<p>施設の有効活用と一体に検討する。</p>
	<p>礼受の佐賀漁場の番屋は通常閉鎖されている。整備して普段も開けておくことが、観光につながるのではないか。</p>	<p>旧佐賀家漁場については、8月上旬の1週間の期間一般開放している。今後ともニシン漁の歴史を伝えるためにも、継続していく。</p>
	<p>沢住小児科病院が閉鎖になり、市立病院では予約していなければ小児科にかかれぬと聞いたので、子どものいるお母さんから確認してほしいと言われた。急病のときにかかれぬとお母さんたちが心配している。</p>	<p>現在、小児科で完全予約となっているのは、ワクチン外来、心臓外来、内分泌外来などの一般診療以外の外来となっている。 一般診療については、予約外の受診も依然と変わりなく受けている。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) その他の項目について	<p>私の町内会は、65歳以上が半数であり、町内会活動する人のなり手がいない。町内会活動が高齢者ばかりであり活動自体が難しい。町内会に対する行政的なバックアップとして住民センターやコミセンについての補助が削減されている。また、市の財政が改善された場合、もとの復元するような施策を検討してほしい。財政が厳しいということで大きく削減されているので、そういうことにも目を向けてほしい。</p>	<p>市としても市全体で高齢化が進んでおり、町内会活動のなり手がなくなってきた現状は認識しており、今年度、運営経費の不足から運営が困難になってきていたコミセンの指定管理委託料を増額するなどのバックアップをしている。しかし、住民センターの運営に関しては、現在補助などをしておらず、今後も町内会の自主努力により運営していただきたい。また、財政計画終了後には、健全化項目の見直しをしていきたいと考えている。</p>
	<p>春日町の住民センターも、今まで、溜めていたお金で運営していたが、あと2年ぐらいで無くなる。</p>	<p>現在のところ住民センターへの財政的な支援はないため、日常的な管理・運営に係る経費については、町内会費等で賄っていただきたい。</p>
	<p>各町内会の会館も自主的に運営しているが、耐用年数からいっても、ダメになりかけている。若い人がいればよいが、自分たちでは改修もできなくなってきている。除雪機も壊れて、冬は閉めている状況にある。</p>	<p>町内会館については、各町内会の自主運営により運営していただいております。改修についても各町内会での対応をお願いしたい。また、除雪機についても市では更新していないため、各町内会で対応していただきたい。</p>
	<p>道路の補修を一生懸命やってもらっているが、本舗装ではないためマンホールの周りなど、凍結による隆起、陥没ですぐ戻ってしまう。道路の現況を十分把握してもらい、道路整備計画に反映させて欲しい。</p>	<p>道路の改良整備は道路整備5カ年計画により破損度の激しいところや緊急性を要するところなどを優先して行っている。財源的に限られることもあるが、今後とも破損などの状況から優先度を検討したうえで改修整備を行っていく。</p>
	<p>街路灯のLED化は大分進んできている。</p>	<p>平成23年度から行ってきた町内会防犯灯のLED化事業は、町内会の交換希望を確認し、今年度をもって終了した。今後は、新規の設置に対して、補助金の交付を行いLED化を支援していく。</p>
	<p>空き家の周辺が不法投棄の元となり、美観を損ねており、危険でもある。町内でもきれいにしようと努力はしているが限界がある。所有者のいない家屋や所有者が適切な判断ができる状態にない家屋が町内にあり、市とも協議しているが、方策がない状況である。 町内会としても行政にお願いするしか手はなく、空き家対策の特別措置法が成立したので、積極的な対応をお願いする。</p>	<p>危険空き家については現状を確認の上、所有者に対し、適正管理を指導している。 空き家対策特別措置法が成立し、今後国により作成されるガイドラインに基づき、市としても条例化を含め新たな対応について検討を進めていく。</p>

市政懇談会のグループ別意見交換における意見一覧

意見分類項目	意見・質問の概要	回答・対応
(5) その他の項目について	小中学校の適正化計画について、統合後の建物の利活用を検討してもらいたい。	校舎の利活用が可能と判断した校舎について、「廃校施設利活用ビジョン」を作成し、検討していく。全庁的に協議する組織体制についても含めて考えていく。このビジョンの基本的な考え方については、教育委員会の協議を経て、平成27年度からは、このビジョンに基づいた検討ができるよう取り組みを進めてたい。
	定期的に「うまいよ！ るもい市」が港で開催されているが、港から黄金岬に抜ける道路がなく不便である。	留萌港の南岸からは国道や道道の幹線道路を利用して黄金岬に行くことができる。
	船場公園が整備され、高規格道路が開通し、港、黄金岬、ゴールデンビーチといった一連の利便性が良くなるような道路整備等、100年先を見据えた街づくりをしていただきたい。	道路網は主要幹線道路を骨格とし、幹線及び補助幹線道路と生活道路が樹木の幹・枝・葉のように構成される。留萌市内では街なかを縦貫する国道とそれを補完する道道及び都市計画道路が幹・枝の役目を果たし、市街地の北側を中心に整備されているが、南側の丘陵部は少ない状況となっている。見晴通が南側丘陵部の補助骨格道路として整備されることにより、良好な交通網の形成が期待される。
	公共施設が市内各地に点在しているが、使い勝手が悪い。	各施設の利用者の意見を参考に、より使いやすい施設となるよう改善していきたい。
	少しの時間海を見に来ただけなのにゴールデンビーチ駐車場の駐車料金を取られたことがあるが、イメージが悪いので駐車料金を取るのをやめてほしい。	駐車料金は維持管理費にご協力いただいている。
	街の中に市営の無料駐車場を造ってほしい。駐車場のある郊外の大型店舗に買い物に行ってしまう、中心市街地の商店街で買い物をしなくなる。	市営の無料駐車場（月ぎめ有料）は明元町6丁目にある。郊外の大型店同様、商店街で設けている駐車場や店舗に併設して駐車場を設けているところもあるのでそちらも利用していただきたい。
	市内の空き家についてどのような対策をしているのか。	消防では毎年調査を実施し、所有者に対し維持管理の文書を送付している。
	留萌市内で危険ドラッグによる救急出動はあったのか。	該当なし。